

コ ー ス	微生物学 (Microbiology)		
学年・期・単位	第2学年・後期・1単位	科目担当責任者	浜田 信城 (感染制御学講座 微生物学分野 教授)
オフィスアワー	毎週月曜日16:30~18:00 (第2研究棟6階感染制御学講座)	メールアドレス	saikin@kdcnet.ac.jp
一般目標 (GIO)	感染症 (微生物による疾患) を理解する為の基礎知識を得ることを目的として、微生物の一般性状および感染における病原細菌の役割について理解するとともに、感染防御の手段としての滅菌、消毒および化学療法を理解する。		

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 微生物学概論	医学における微生物学の意義を理解する。 微生物の多様性とそれぞれの特徴を理解する。
2. 細菌総論	細菌の形態学的特徴と生物学的性状を理解する。 細菌の遺伝について理解する。
3. 化学療法と消毒・滅菌法	化学療法の目的および化学療法薬の種類とその作用機序を理解する。 滅菌と消毒の意義、原理および代表的な方法について理解する。
4. 試験評価	当該ユニットの内容について把握する。
5. 病原細菌各論	感染症の原因となる主要な病原細菌の性状を理解する。
6. 特殊な細菌および細菌以外の微生物各論	感染症の原因となるマイコプラズマ、リケッチア、クラミジア、真菌、原虫、ウイルスの基本性状と主な種類について理解する。
7. ふり返り総合学習	微生物学の重要事項を系統的に理解する。

教科書		
書名	著者名等	発行所
A 口腔微生物学 第3版 -感染と免疫-	小川和彦 他編著	学建書院

参考書		
書名	著者名等	発行所
戸田新細菌学	吉田真一、柳雄介 編	南山堂
最新口腔微生物学	奥田克爾 著	一世出版
系統看護学講座「微生物学」	吉田真一著	医学書院

評価法 (EV)
中間試験 (客観・記述; 50%) および本試験 (客観・記述; 50%) の成績による総合評価。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	9/5	概論 微生物学	1. 微生物学の意義と歴史について説明できる。 2. 微生物の種類と特徴について説明できる。	A P2~19に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	浜田信城	D -3-1)- ① 総(VI)-6-B
2	9/12	細菌総論	細菌の形態と構造について説明できる。	A P23~34に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	浜田信城	D -3-1)- ① 総(VI)-6-B
3	9/26		細菌の増殖と代謝について説明できる。	A P35~47に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	浜田信城	D -3-1)- ① 総(VI)-6-B
4	10/3		1. 細菌の分類と同定法について説明できる。 2. 細菌の遺伝について説明できる。	A P22~23, 48~71に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	浜田信城	D -3-1)- ① 総(VI)-6-B
5	10/17	法 化学療法と消毒・滅菌	化学療法の特徴および化学療法薬の種類と作用機序について説明できる。	A P397~421に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	熊田秀文	D -3-1)- ③④ D -5-2)- ① 必4-C- c 必15-Z-a ~ i
6	10/24		滅菌法および消毒薬の特徴について説明できる。	A P388~396に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	熊田秀文	D -3-1)- ①③④ 必4-C- b 必15-H-a, b
7	10/31	試験評価	講義1回から6回の内容について説明できる。	中間試験を実施する。	微生物学分野 教室員全員	D -3-1)- ①③④ 総(VI)-6-B
8	11/7	病原細菌各論	化膿性炎の病態とその原因菌の性状について説明できる。	A P98~112に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	熊田秀文	D -3-1)- ② 必11- C -e 総(VI)-6-B 総(IX)-3-F
9	11/14		腸内細菌の種類と性状および腸管感染症について説明できる。	A P113~128に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	熊田秀文	D -3-1)- ② 必11- C -e 総(VI)-6-B 総(IX)-3-F
10	11/21		毒素性炎を惹起する細菌の種類とそれぞれの毒素の特徴について説明できる。	A P129~153に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	熊田秀文	D -3-1)- ② 必11- C -e 総(VI)-6-B 総(IX)-3-F
11	11/28		特殊な細菌および細菌以外の微生物各論	肉芽腫性炎を惹起する細菌の性状について説明できる。	A P153~176に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	熊田秀文
12	12/5	特殊な細菌、真菌と原虫の性状について説明できる。	特殊な細菌、真菌と原虫の性状について説明できる。	A P177~183, 221~231に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	熊田秀文	D -3-1)- ①② 必11- C -e 総(VI)-6-B 総(IX)-3-F 各II(1)-3-AG
13	12/12		ウイルスの性状について説明できる。	A P184~197に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	浜田信城	D -3-1)- ① 総(VI)-6-B 総(IX)-3-F
14	12/19		ウイルス感染症 (DNA ウィルス、RNA ウィルス) について説明できる。	A P197~220に沿って板書およびパワーポイントにより解説する。	浜田信城	D -3-1)- ② 必11- C -e 総(VI)-6-B 総(IX)-3-F 各II(1)-3-V, AD, AE, AF
15	12/21 (調整期間) 1限	合学 ふり 返り 総	微生物学の重要事項を系統的に説明できる。	配布資料およびパワーポイントにより解説する。	浜田信城	